



# おもいっきり楽しもう！ 体験と学習

PushCorn でポートフォリオづくりにチャレンジだ！！



事業名：最上川丸ごと体験ミュージアム ～源流から河口まで～  
ホームページ <http://www.mogamigawa.net/>  
主催者：美しい山形・最上川フォーラム  
〒990-8570 山形県山形市松波二丁目 8-1 山形県文化振興課内  
お問合せ：最上川丸ごと体験ミュージアム事務局  
〒999-3729 東根市中央東3丁目 2 - 54  
電話：0237-42-1008 メール：info@mogamigawa.net

# 目次

---

## 第1部 「ひとまず体験」編 ..... 3

学習のテーマを決めたらフィールドへ  
デジカメやビデオカメラで撮影しよう！  
サイトを作ろう！  
フォルダを作ろう！  
新しい分類フォルダに名前をつける  
新しい地域フォルダに名前をつける  
ファイルをアップロードする  
アップロードできるファイルのいろいろ  
画像は加工しなくていいの？  
クリップを整理しよう！  
トピックごとにカードを作ろう！  
トピックの組み立て方  
カードの作り方  
カードに画像をはろう！  
カードをフォルダに入れよう！  
作ったら次はいつも「ポップコーン」！  
インターネットに公開しよう

## 第2部 「ずーっと学習」編 .....23

「eポートフォリオ」に育てましょう！  
PushCornで小さく作って、大きくまとめる  
サイト：作るときと見るときは順番が逆  
サイトの作り方：ここがポイント！  
フォルダの分け方はいろいろ 例えば...  
メディアファイルはどう扱うのか  
ムービーのサムネイルを表示する方法  
皆とネットでいつもいっしょに！  
自由に発想することが楽しさの源！  
学習を楽しむ最良の方法は？

# 第1部「ひとまず体験」編

何ごとも最初は「ひとまず体験」から始まります。小さくても大きな第一歩。Push-Corn が一通り使えたら、心配いりません。忘れないうちに、二度、三度と繰り返し使ってみてください。「自分の永遠のテーマ」も見つかるはずです。



最上川丸ごと体験ミュージアム  
「戸沢村最上川イカダ下り体験」の一コマ

# 学習のテーマを決めたらフィールドへ

---

勉強…。何かつまらなそうなことばですね。ここでは「学習」と言うことにしましょう。

いろいろな発見があって、わくわくするような楽しいこと、ためになること。それが「学習」です。

本を読んだりすることだけが「学習」ではありません。自分で外に出て、いろいろなものに出会い、ふれたり見たりしたこともデジカメやビデオに撮ってきましょう。

ふだんいつも行っている場所でも、デジカメを持って行くと、いろいろなものがあることに気づきます。これからとても楽しい発見の世界が待っていますよ。



一人でいくよりも皆と一緒に行くとさらに楽しくなります。皆でどんなフィールドワーク（現地調査、野外調査）をしようかと考えるのも楽しみです。デジカメやビデオカメラを忘れずに！



フィールドワークから持ち帰った画像はパソコンへ。そしてPushCornでサイトを作ります。パソコンの前でも皆でわいわいがやがや楽しくやりましょう。いろいろな発見やアイデアがわいてきますよ。



# デジカメやビデオカメラで撮影しよう！

テーマを決めたらフィールドへ。テーマを決めて出かけても、実際にはいろいろなものに目がいきます。面白いと思ったもの、「これ何だろう」と思ったものは、とにかくデジカメやビデオカメラで撮っておきましょう。

本で調べたりしてみましょ。どうしてもわからなければ誰かに教えてもらうこともできます。ここからまた発見の楽しみが広がります。

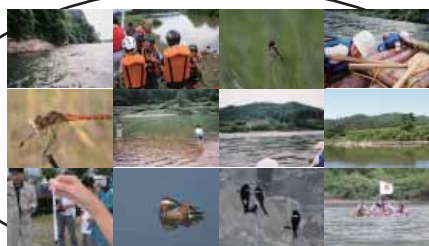


## 映像を撮ったら後で整理！

興味あるものをデジカメやビデオカメラで映像を撮るとホームページに載せることができます。写真のアルバムを整理するように、画像やビデオを整理しながら、興味のあることを一つ一つまとめていきます。ホームページづくりがさらに楽しくなります。

環境学習などではフィールドワーク（現地調査）が大切です。自然観察はフィールドワークそのものです。調べたことをしっかりとデジカメに撮って証拠写真として持ち帰りましょ。

フィールドワークで撮った画像



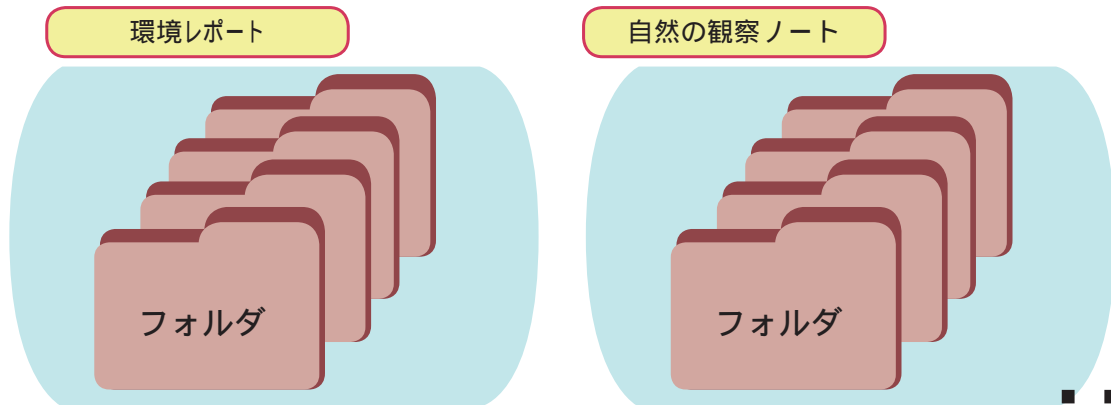
画像は情報のいずみです。



調べたこと、人から聞いた話、気づいたこと、考えさせられたことなどもあるはず...

# サイトを作ろう！

ホームページ(ウェブサイト)と聞くと、ちょっと難しいと思っている人も多いのではないのでしょうか。PushCornでは、最初にサイトを作ります。サイトの中にこれからいろいろな情報を入れていきます。サイトはいくつでも作ることができます。なれるまでは何度でも作り直すつもりで、ともかくいろいろ試してみましょう。



これから学習するテーマごとに新しいフォルダを作って名前をつけましょう。フォルダには、これから作るカードを入れます。

自分の PushCorn を開く！

ブラウザからあなたの PushCorn トップメニューのアドレス (URL) を入力して、「Top」を出します。

URL `http://www.mmdb.net/ あなたのユーザ ID/pushcorn/`  
URL はお使いの PushCorn サーバにより異なります。

ユーザ ID とパスワードを入力してください。



新規サイトを作る。

「新しいサイトを作る」を選びます。



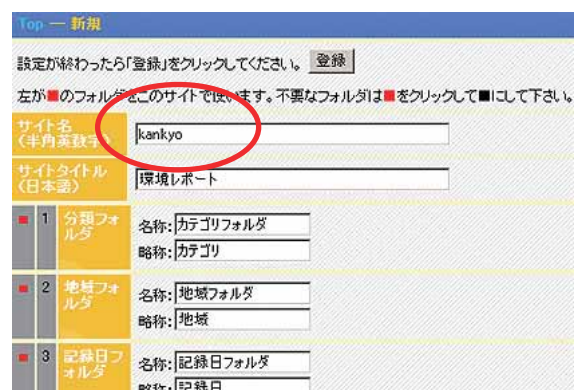
サイトに名前をつける。

「サイト名」には「kankyo」のように半角英数字で名前をつけます。

サイトタイトルには日本語で「環境レポート」のように名前をつけます。

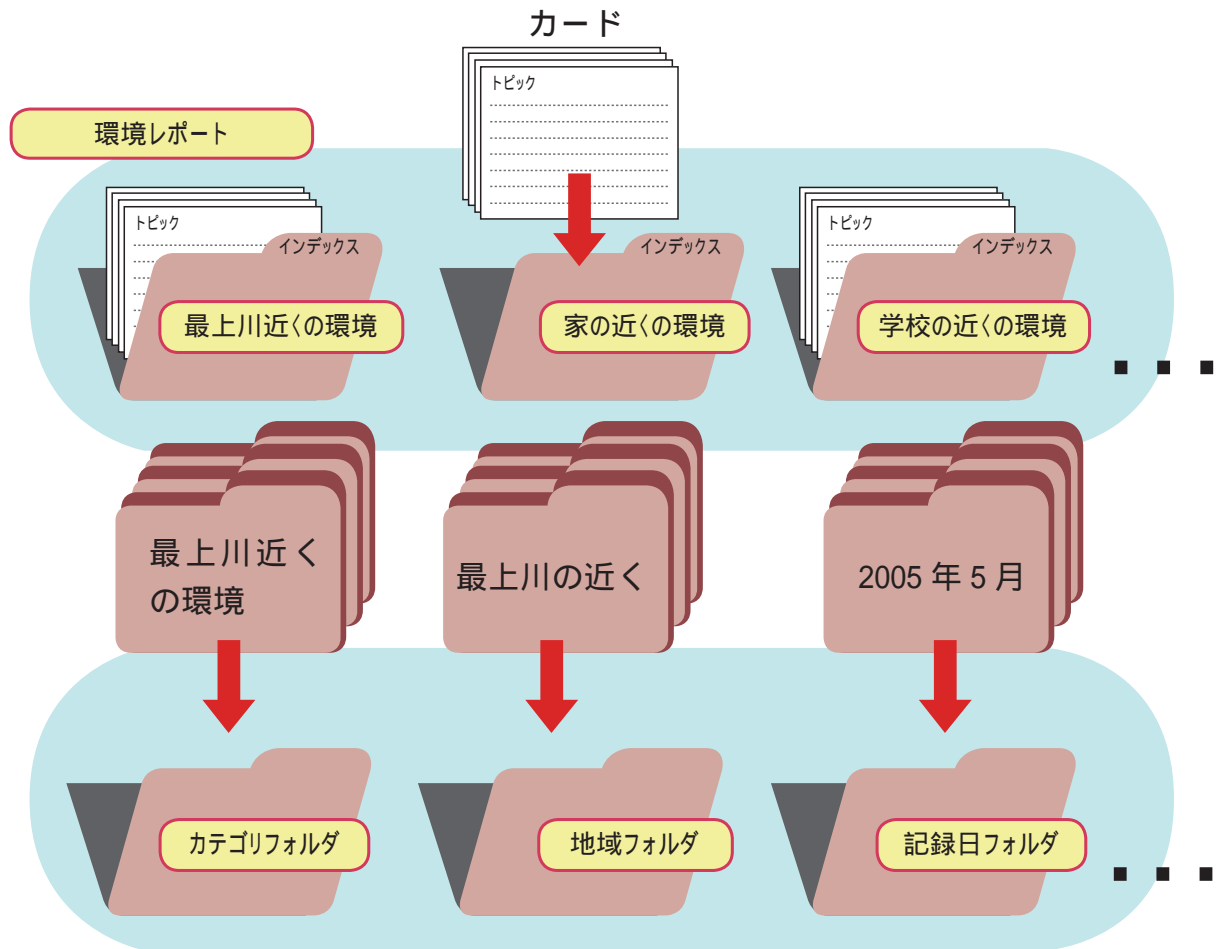
「分類フォルダ」「地域フォルダ」「記録日フォルダ」「登録日フォルダ」...といくつかあります。それぞれのフォルダは名前を変えることもできます。名前を変えなければ、とりあえずこれで OK です。

「オプションフォルダ」は任意のフォルダ作成に使います。適切な名前を入力し、左の赤い をクリックします。



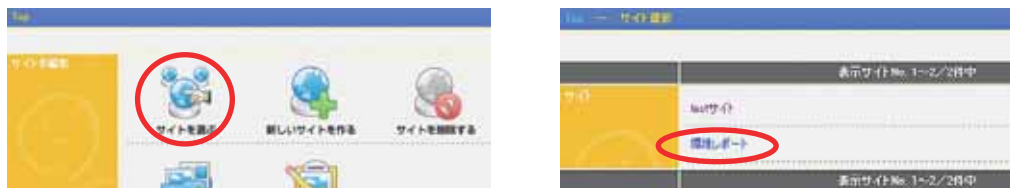
# フォルダを作ろう！

分類フォルダ、地域フォルダはまとめフォルダです。この中にいくつもカードを入れるテーマ別のフォルダを作ります。



分類フォルダにテーマ別のフォルダを作る

「Top」から「サイトを選ぶ」、続いてこれから作るサイト名を選びます。



そして今作ったばかりのサイトのメニューから「フォルダを編集する」を選びます。



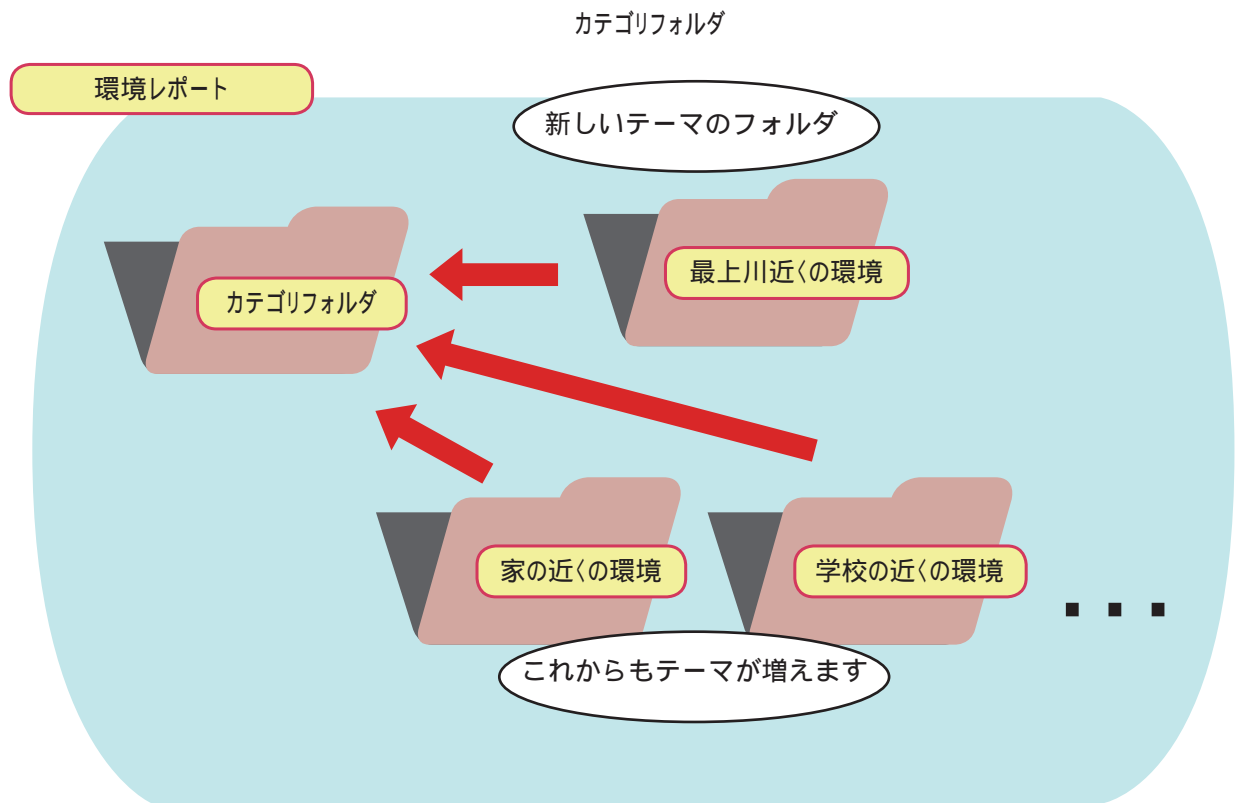
フォルダ種別選択から「カテゴリ」(「分類フォルダ」)または「地域」(「地域フォルダ」)の「新規」ボタンをクリックします。



# 新しい分類フォルダに名前をつける

分類まとめフォルダに今回のテーマのフォルダを作ります。

これからまた新しいテーマで何か始めるときには、新しい名前のフォルダを作ります。これから末長〜く、フォルダを作っては増やしていきましょう！



分類フォルダにテーマ別のフォルダを作る

フォルダ名にテーマをあらわす名前を付けます。例えば「最上川近くの環境」のようにします。略称はそれを短くした名前にします。同じでもかまいません。フォルダIDには半角英数字でそれとわかる名前（例えば「mogami」）を付けます。終わったら、「登録」をクリックします。

Top		サイト選択	サイト編集	フォルダ種別選択	名前選択	フォルダ編集
登録	削除	環境レポート				
サイト		環境レポート				
フォルダ種別		分類				
フォルダ名		最上川近くの環境				
略称		最上川近くの環境				
フォルダID (半角英数字)		mogami				



# 新しい地域フォルダに名前をつける

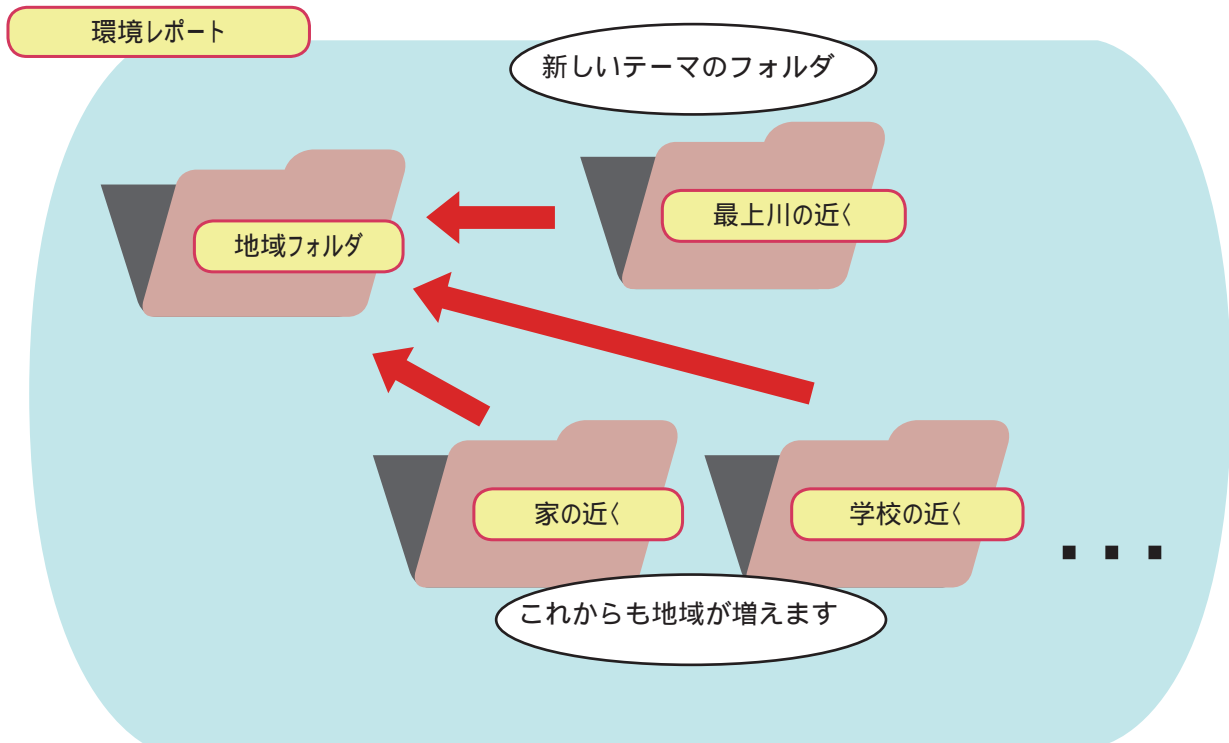
地域まとめフォルダに今回のテーマのフォルダを作ります。

これからまた新しい地域を増やすときには、新しい名前のフォルダを作ります。

どのような地域に分類するかは、何をするかによっていろいろ考えられます。

例えば、同じ市内の違う場所が多くなりそうなら、「最上川の近く」「家の近く」...のような整理でいいでしょう。

少し地域が広い場合には、「山形市」「天童市」のような整理でもよいです。



## 地域フォルダにテーマ別のフォルダを作る

フォルダに地域をあらわす名前を付けます。例えば「最上川の近く」のようにします。略称はそれを短くした名前にします。同じでもかまいません。キーIDには半角英数字でそれとわかる名前(例えば「mogami」)を付けます。終わったら、「登録」をクリックします。

Top		サイト選択	サイト編集	フォルダ種別選択	名前選択	フォルダ編集
登録	削除					
サイト	環境レポート					
フォルダ種別	地域					
フォルダ名	最上川近く					
略称	最上川近く					
フォルダID (半角英数字)	mogami					

# ファイルをアップロードする

アップロードとは？

画像ファイルなどを別のコンピュータに送ることです。サーバという役割のコンピュータに送ります。

画像を残すことも大きな目的

デジカメにいつまでも画像を残しておくことはできません。古い画像も残しておきたいものです。これをサーバに送ると、古いものもなくさずサーバにファイルを蓄積できます！



日付を付けて後からでもわかるように  
やみくもに画像をアップロードすると、何を  
どこに保存したかわからなくなります。後から  
でもわかるように、撮った日の日付などでフォルダ  
を作ってアップロードします。



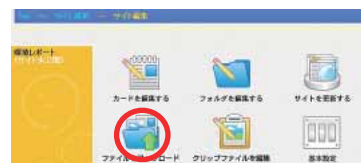
アップロードを選ぶ。

サイト編集メニューから「ファイルをアップロード」を選びます。「Top」の「ファイルをアップロード」も同じことをします。

Topメニュー



サイト編集メニュー

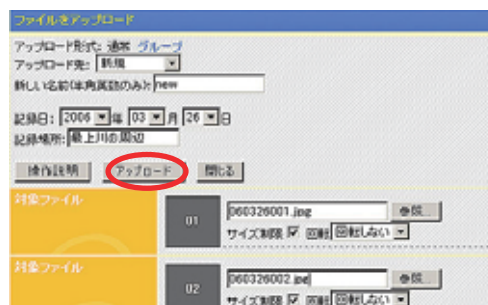


ファイルを選んでアップロード。

ファイル名の「参照...」を選び、アップロードしたいファイルを選びます。

「アップロード先」から「新規」を選び、新規ディレクトリ名にその画像を入れるフォルダ名（半角英数字）を書きます。

以上終わったら「アップロード」を実行します。アップロードが終わったらウィンドウを閉じます。たくさんある時はこの手順を繰り返します。2回目以降は既に指定したアップロード先の名前を選びます。



# アップロードできるファイルのいろいろ

PushCornではいろいろなメディアファイル（マルチメディアのさまざまな形式のファイル）をアップロードすることができます。形式ごとにファイルの拡張子が異なります。

## 画像ファイル

次のタイプの画像ファイルをアップロードできます。

jpg（jpeg = ジェーペグ）、gif（ジフ）、png（ピング）、bmp（ビーエムピーまたはビットマップ）

アップロードした後はいずれも jpg 形式に変換します。



jpg (jpeg)



gif



png



bmp

## 動画（ムービー）ファイル

次のタイプの動画ファイルをアップロードできます。

avi、mpg（mpeg）、mov、wmv



avi



wmv



mov



mpg (mpeg)

(WindowsMedia Video) (QuickTime ムービー)

Windows で動画を作ると、普通、avi、wmv の形式になります。

Mac で動画を作ると、QuickTime ムービー（mov 形式）になります。

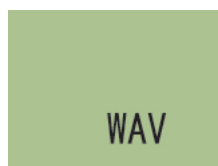
ハード、ソフトによっては mpg（エムペグ）になります。

## 音声ファイル

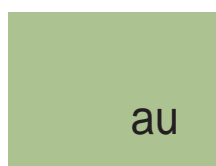
mp3、wav、au、wma のいずれかのファイルをアップロードできます。



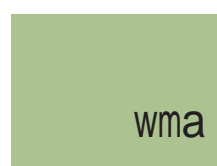
mp3



WAV



au



wma

## 音楽ファイル

MIDI ファイル（拡張子：mid）をアップロードできます。



## 文書ファイル

文書ファイルには数多くの形式があります。現在、以下のタイプのファイルをアップロードできます。

- txt テキスト形式
- doc WORD 形式
- html HTML 形式
- xls Excel 形式
- xml XML 形式
- ppt PowerPoint 形式
- pdf PDF 形式

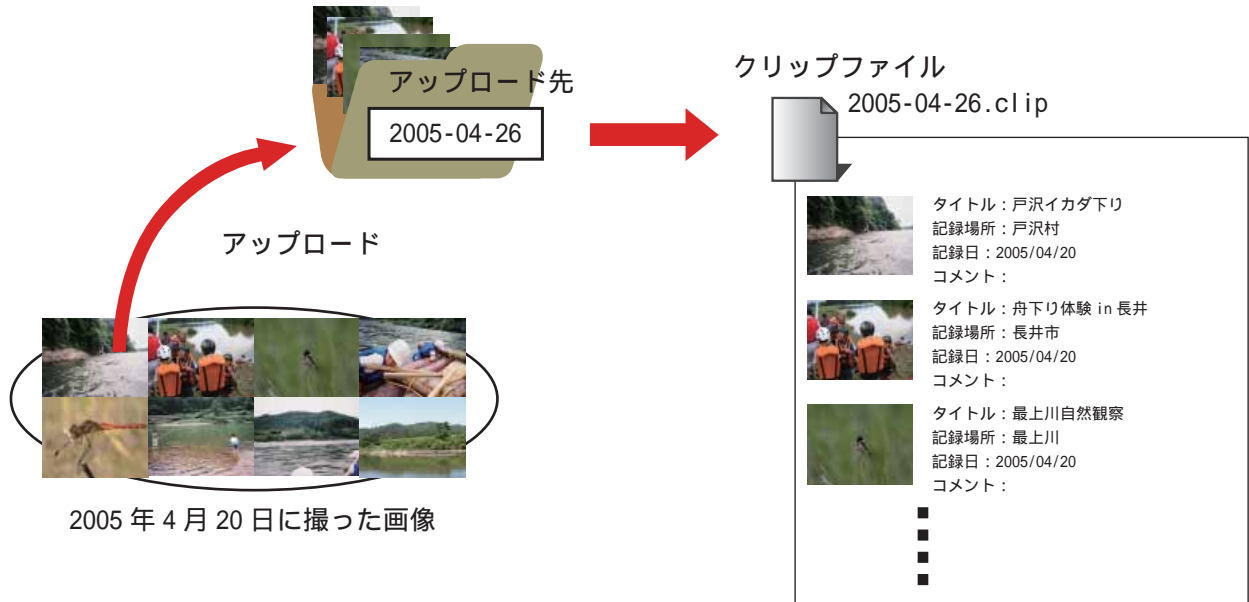
# 「クリップファイル」は情報の整理箱

クリップファイルは情報の整理箱

アップロードしたファイルは「クリップファイル」という素敵な入れ物に記録されます。

画像や動画などのファイルをサーバにアップロードしたら、それにタイトルを付れたり、コメントを書き加えて未長く保管できるようにする「情報の整理箱」がクリップファイルです。

ここでちょっとそのからくりをご説明しましょう。

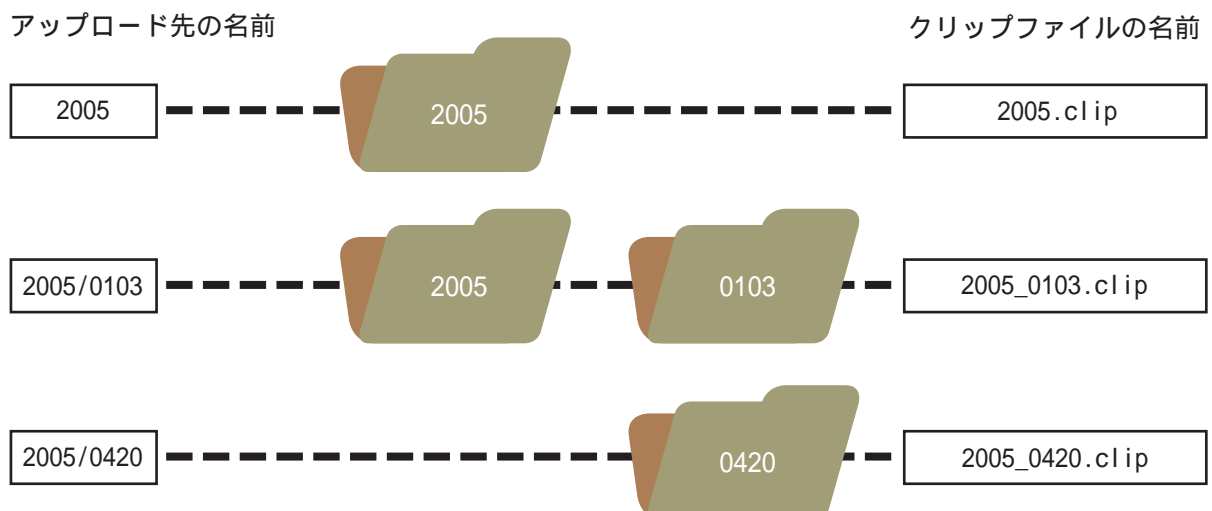


アップロード先は階層化できます。

アップロード先はファイルの格納庫です。使える文字は半角英数字だけです。ご注意ください。

さて、アップロード先は例えば次のように階層化することができます。アップロード時、アップロード先の名前は / で区切ると、次のように階層化されます。

クリップファイル名は次の例のように、名前の間は \_ でつないだ名前に置き換えます。



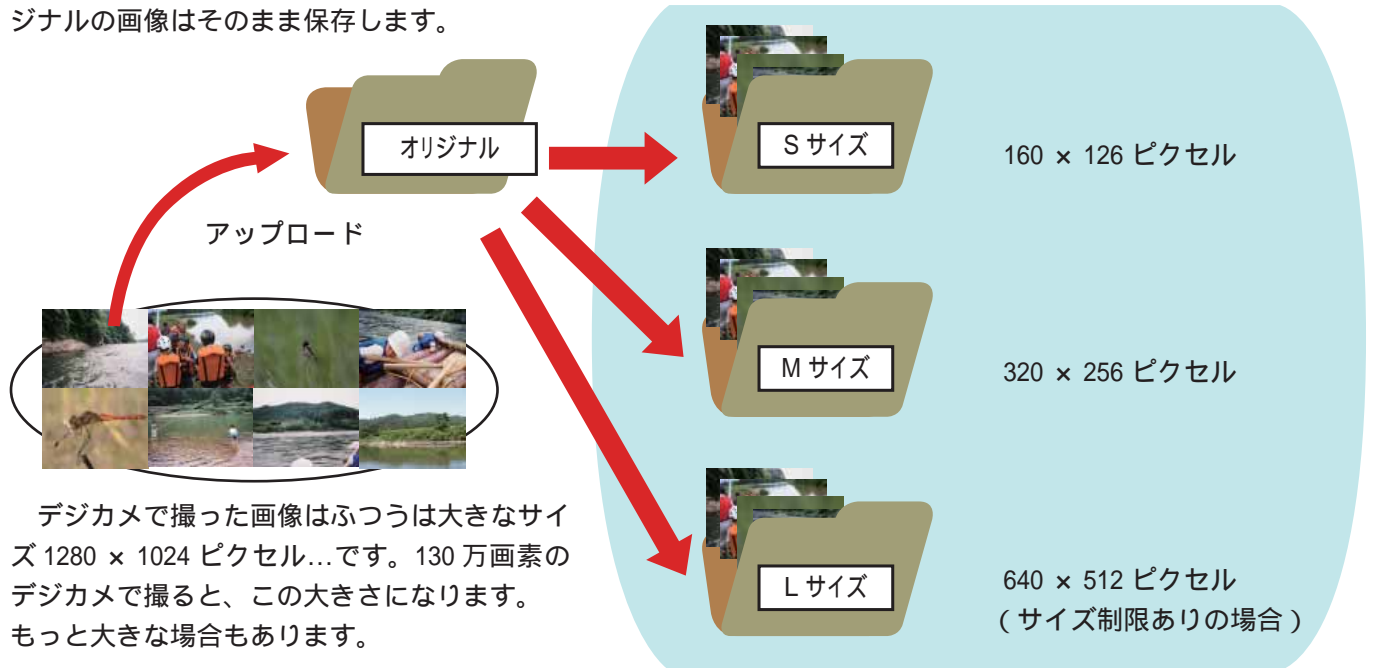


# 画像は加工しなくていいの？

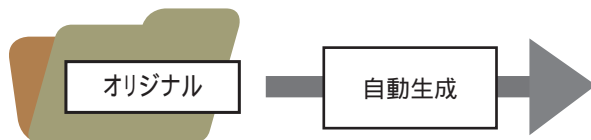
暗すぎたり、コントラストがきつすぎたりする画像は加工するのに越したことはありません。Push-Corn ではなるべく加工の手間がいらぬように処理してくれます。

デジカメで撮った画像はそのまま送ります。横向きの画像は回転して起こしてあげてください。それでは画像が大きすぎませんか。

心配はいりません。PushCornでは、すべてサーバの中でうまく処理されるようになっています。オリジナルの画像はそのまま保存します。



PushCornでは画像の変換を全て自動処理します。とても面倒だった画像の扱いがとても簡単になりました。



クリップファイル

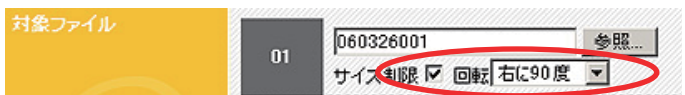
大きさ：

- S サイズ 160 × 160 ピクセル以内
- M サイズ 320 × 320 ピクセル以内
- L サイズ 640 × 640 ピクセル以内 (サイズ制限ありの場合)

## オリジナルをLサイズにしたい時は...

画像の種類や用途によってはLサイズをオリジナルの大きなサイズのまま見せたい場合もあります。その時は「サイズ制限」のチェックを外してください。Lサイズがオリジナルサイズになります。

## ファイルのアップロード



## 画像を回転させたい時は...

回転角度を選んでください。90度単位で選ぶことができます。



# クリップを整理しよう！

ファイルをアップロードし終わったら、クリップファイルを開いてクリップを整理してみましょう。タイトルを付けたり、コメントを付けたりします。

クリップファイルは未長くファイルを保存し、サイトを作るときに役立ちます。タイトルなどが付いていると、カードに画像などを割り付ける時にも便利です。

ちょっと手間はかかりますが、記憶が新しいうちにクリップに情報を設定しておきましょう。

## 「クリップファイルの編集」を選ぶ

「Top」または各サイトごとのメニューから「クリップファイルの編集」を選びます。



## 「既存のクリップファイル」を選ぶ

「既存のクリップファイル」から編集したいクリップファイルを選ぶと、そのクリップが一覧表示されます。

### 各クリップを編集する

編集したいクリップの「編集」ボタンをクリックすると、クリップの入力項目が開きます。「すべて展開」ボタンをクリックすると、全てのクリップの入力項目が開きます。

タイトル、記録場所、記録日、コメントをそれぞれ入力します。



## 「登録」を選ぶ

入力が終わったら、「登録」をクリックします。一度クリックすると全てのクリップの情報を保存します。クリップごとに一つ一つ「登録」を繰り返す必要はありません。



## 新規にクリップファイルを作り直したい時は

一番上にある「イメージクリップ」(クリップファイル)の項目は、新規にクリップファイルを作り直したい時、既存クリップファイルを削除したい時にだけ使います。

既存クリップファイルの画像をクリックすると、順にファイルが追加されます。クリップファイル名を入力し、「登録」ボタンをクリックします。



## 既存クリップファイルを削除したい時は

「イメージクリップ」にクリップファイル名を入力し、「削除」ボタンをクリックします。

# トピックごとにカードを作ろう！

調べたこと、人から聞いた話、気づいたこと、考えさせられたことなどがいろいろあるはず。画像を見てさらにそこから気づくことなどもあるはず。

そういう何か（トピック）をみつけたら、それをカードにまとめてみましょう。

まず何を調べたのか、何に気づいたのかなどを説明してみましょう。

どういうトピックか、わかりやすいタイトルを書きます。





こういう情報はいつ、どこのことなのか、わかるようにしましょう。

カードを作った日付も入れておきましょう。

どのフォルダに入れるのかも忘れずに。これを入れないと、このカードはどのフォルダにも入りません。

このカードに何枚も画像を並べたい時には、それもここにまとめて入れましょう。



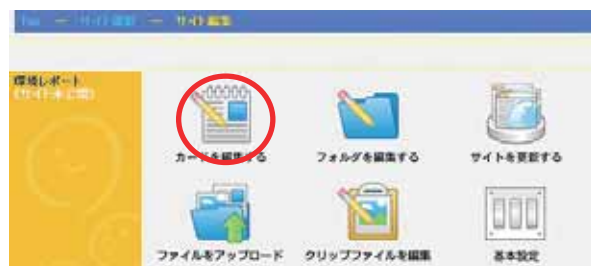
トピック	タイトル 戸沢村イカダ下り体験
	私は、最上川をイカダでくだりました。さいしょは、すしこわかったけど、だんだん慣れてきました。流れがあるところと、ほとんど流れがないところもありました。
記録日 2005/04/15	
場所 戸沢村	
  	

**欲ばりはダメよ！**

何か書き始めると、ついついあれもこれもと書きたくなります。1枚のカードには1つのトピックだけ書きましょう。ちがうトピックは別のカードに書きましょう。

## カードを編集

「カードの編集」を選びます。



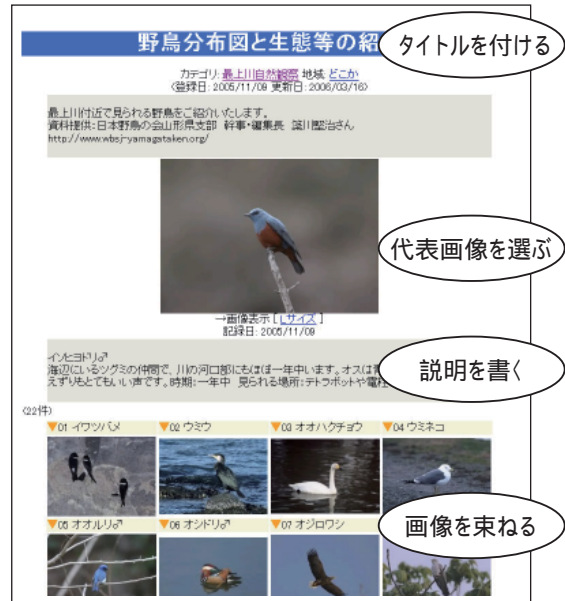
新規にカードを編集する時は「新規」ボタンをクリックします。既にカードがある場合は、カードのタイトルを選びます。



# トピックの組み立て方

画像を選ぶことで、何の「トピック」かがはっきりしてきます。そこで、まずは「トピックの組み立て方」からみていくことにしましょう。

「ポップコーン」でサイトを作ると、例えば右のようなページができます。このような内容をトピックとしてまとめることを考えてみましょう。



## 画像を束ねる

「最上川」のトピックを扱うとすれば、ある場面のトピックをどの画像で構成し、どのようなタイトルを付けることができるかを考えます。



## 代表画像を選ぶ

ともかく一番印象的な画像、伝えたい画像を選びましょう。おそらくそこに一番伝えたいトピックが代表されているはずです。



## 説明をする

伝えたいことを言葉で表現してみましょう。伝えたいことがさらにはっきりしてきます。

## タイトルを付ける

以上の内容をタイトルに表現してみます。どうもうまいかない、という時は内容、構成、表現を見直してみましょう。



# カードの作り方

## カード編集画面

カードにはいろいろと書き込みたいことがあります。項目の数も少し多くなっています。これらの項目に必要な事項を記入したり、選択したりして各項目を編集します。



## カードに入力できる項目

処理メニューには、カードに追加できる項目が並んでいます。カードに組み込みたい項目を順番に選びましょう。

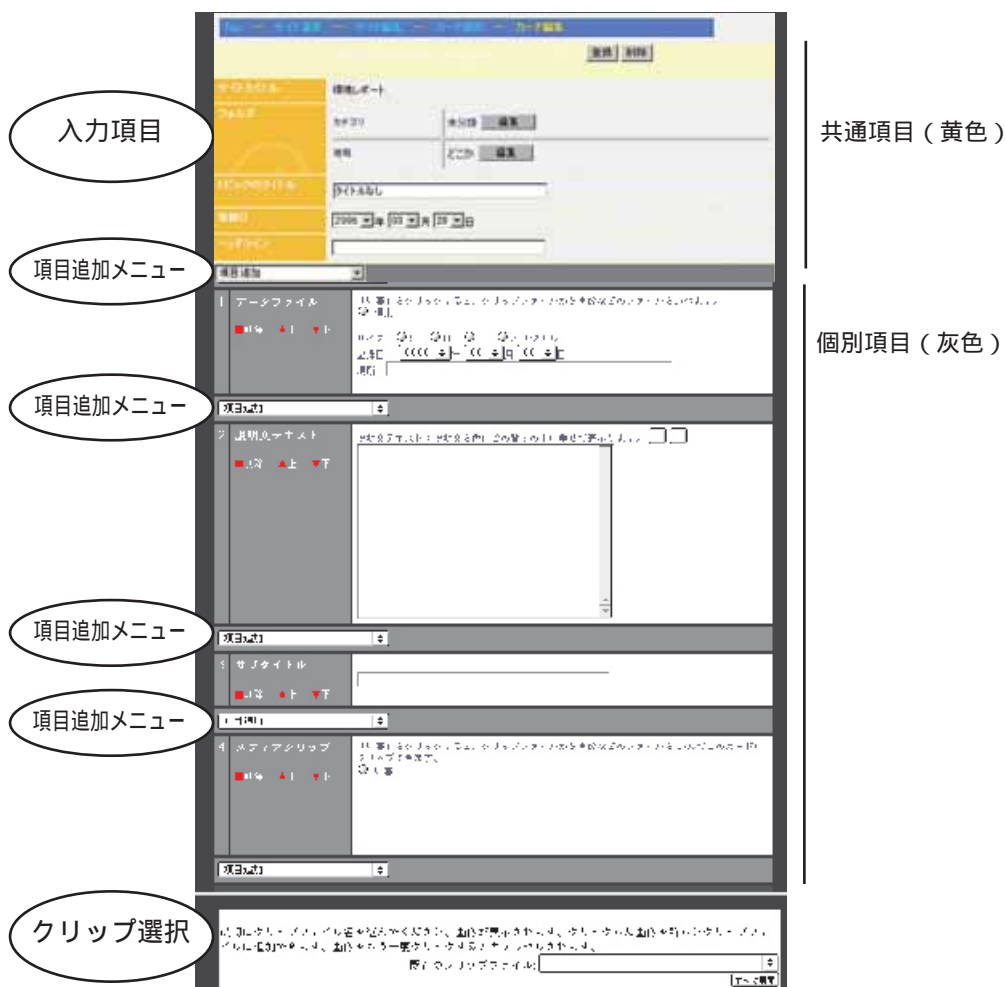
- 「サブタイトル」 サブタイトル（小見出し）を付ける時に使います。
- 「説明文テキスト」 説明文を書く時に使います。出来上がったページには枠取りされて表示されます。
- 「長文テキスト」 長い文章を書くときに使います。
- 「1行テキスト」 簡単な1行文を書くときに使います。
- 「データファイル」 画像、ムービー、音声、文書ファイルを貼り付ける時に使います。
- 「メディアクリップ」 画像などを束ねてクリップにする時に使います。
- 「区切り線」 ページの途中に区切り線を引く時に使います。
- 「横組み開始 / 終了」 画像やテキストなどを横組みする時に「開始」と「終了」で範囲を指定します。

どの項目も何度でも使うことができます。例えば次のように組みたい時は該当の項目を順番に追加します。

The diagram illustrates the process of adding items to a card. On the left, a preview of a card is shown with callouts for 'タイトル' (Title), '代表画像' (Representative image), '説明文' (Description), 'サブタイトル' (Subtitle), and 'メディアクリップ' (Media clip). On the right, a sequence of '項目追加' (Add item) buttons is shown, numbered 1 through 4. The steps are: 1. Select 'データファイル (画像)' (Data file (Image)) from the '項目追加' menu. 2. Select '説明文テキスト' (Description text) from the '項目追加' menu. 3. Select 'サブタイトル' (Subtitle) from the '項目追加' menu. 4. Select 'メディアクリップ' (Media clip) from the '項目追加' menu.

入力項目の確認を！

項目追加メニューから項目の種類を選ぶと、項目の欄が追加されます。共通項目（黄色）は固定です。個別項目（灰色）の追加・削除・入れ替えは自由にできます。



入力項目を入れ替えたりする時は？

左側の項目名の下にある赤いボタンで操作します。

- その項目を削除する。
- 一つ上の項目と入れ替える。
- 一つ下の項目と入れ替える。



それぞれの項目に入力する方法

「データファイル」「メディアクリップ」の場合には、下段の「クリップ選択」から「既存のクリップファイル」を選びます（手順は次のページ）。

「区切り線」「横組み開始/終了」は項目の位置を指定するだけです。

それ以外の項目は、テキストフィールドに文字を入力します。

全ての入力が終わったら「登録」

全ての入力が終わったら、ページ右上の「登録」ボタンをクリックします。

もし入力内容を無効にしたい時は「登録」をクリックしないで、他の処理を選んでください。

既存カードの編集後に新規保存はできません。

既存のカードを「カード編集」メニューから選んだ後、新たな内容に書き換えて新規保存することはできません。この場合はあくまで既存カードを上書き更新するだけです。間違えないように気をつけてください。

# カードに画像をはろう！

まずは「既存のクリップファイル」を選ぶ

下段「クリップ選択」の「既存のクリップファイル」メニューを選んでください。ここから貼り付けたい画像の入っているクリップファイルを選びます。



項目「画像などのファイル」に画像をはる

「編集」ボタンをクリックします。次にクリップファイルの画像をクリックします。記録日、記録場所はクリップから自動設定されます。



画像をはる



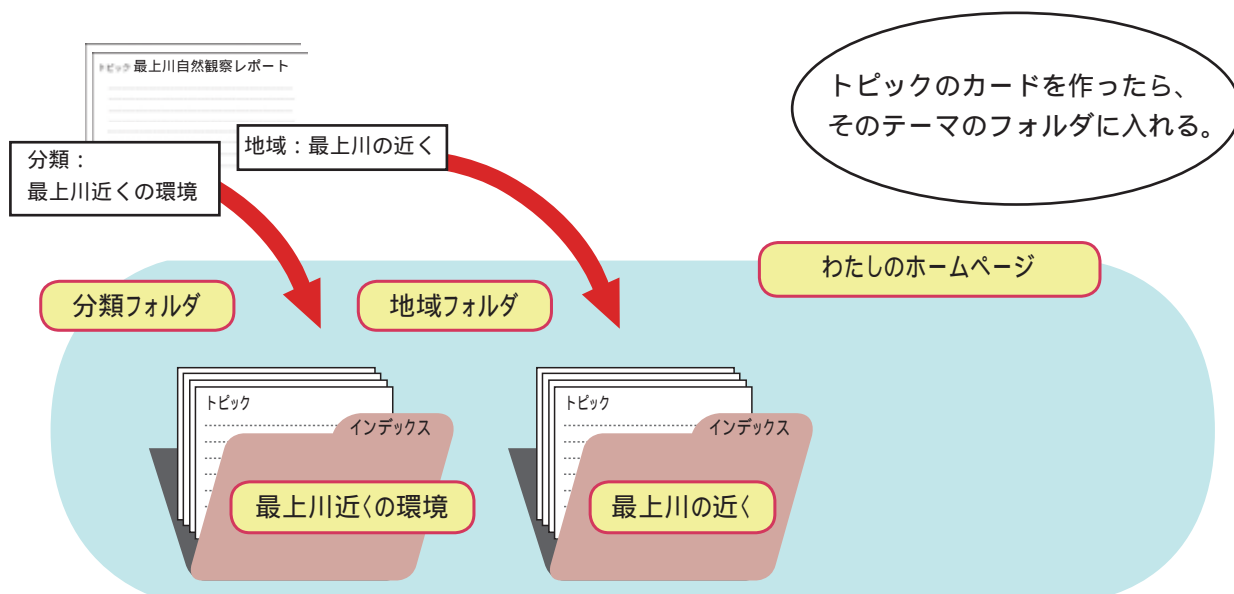
項目「メディアクリップ」に画像をはる。

「編集」ボタンをクリックします。次にクリップファイルの画像をクリックします。クリップはいくつでも追加できます。同じクリップをもう一度クリックすると、選択がキャンセルされます。



# カードをフォルダに入れよう！

テーマごとに分けてわかりやすく！



トピックのカードをテーマ別のフォルダに入れます。このカードを「分類フォルダ」「地域フォルダ」それぞれのどのフォルダに入れたいのかを選びます。

どの分類フォルダ、地域フォルダに入れるかを選ぶ。

どの「カテゴリ」(「分類フォルダ」)に入れるのか、どの「地域」(「地域フォルダ」)に入れるのかを選びます。



フォルダ名(インデクスキー名称)から、どのフォルダに入れるのかを選びます。  
何も選ばないと、とりあえず「カテゴリ」は「未分類」、「地域」は「どこか」に入ります。なるべく自分で作ったフォルダを選ぶようにしましょう。



新しいフォルダを加えたい時は

新しいフォルダ名を加えたい時は次のように、「新規」を選ぶと、フォルダを追加できます。

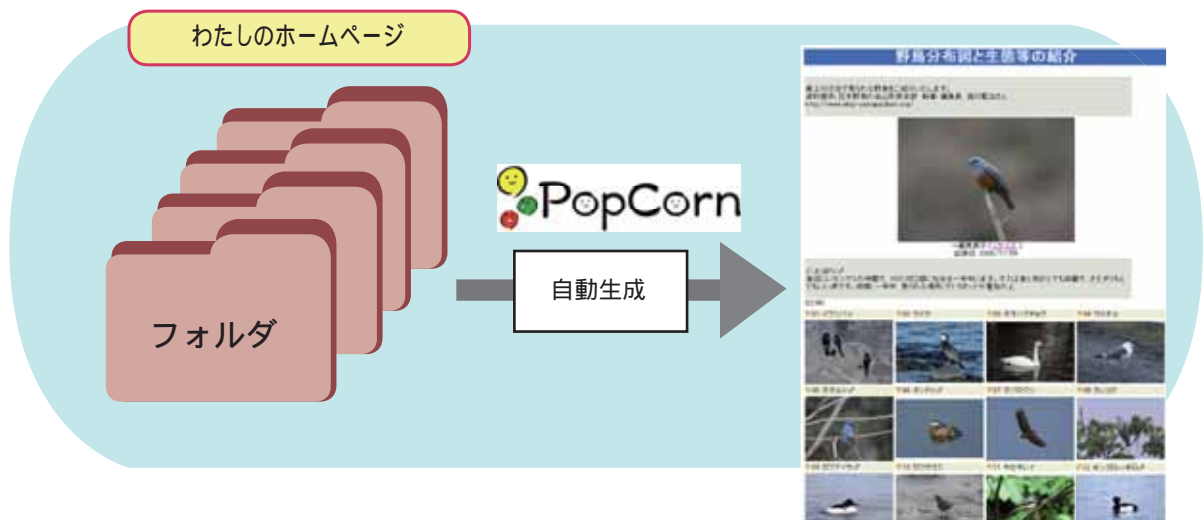
フォルダ名(インデクスキー名称)、略称(キー名略称)、フォルダID(キーID)をそれぞれ入力し、「登録」ボタンをクリックします。





# 作ったら次はいつも「ポップコーン」！

作ったときが見たいときです。一つカードができたなら、「PopCorn」(ポップコーン)でウェブサイトを作ってみましょう。ところで、「PopCorn」とは何でしょう。PushCornのお友達です。PushCornでサイトの編集をすると、PopCornがサイト(ホームページ)を自動生成してくれます。普通のホームページエディタでは一つ一つのページを編集するには向いていますが、サイト全体の構造を作るのはとても手間がかかります。この点が大きく違います。今は1つのカードでも、これから10、100、1000...とその数が増えていくかもしれません。数が増えるほど、サイトを作るのはとても大変になります。カードの枚数がどんなに増えてもそれを支えてくれるのが「PopCorn」です。カードを追加したら、そのたびにサイトを作り直して、どんなものになったかを見てみましょう。



## ポップコーン実行

サイト編集メニューからサイトを更新する(ポップコーン)を選びます。



次の画面が出てきます。「サイトを生成する」をクリックして「ポップコーン」を実行します。



まだトピックやクリップ件数が少なければほんの数秒で処理は終わってしまいます。処理が無事終わると、次のような「結果」メッセージが表示されます。これでサイトができました。



## サイトを見てみよう

「結果」メッセージの画面から生成したばかりのサイトにジャンプできます。

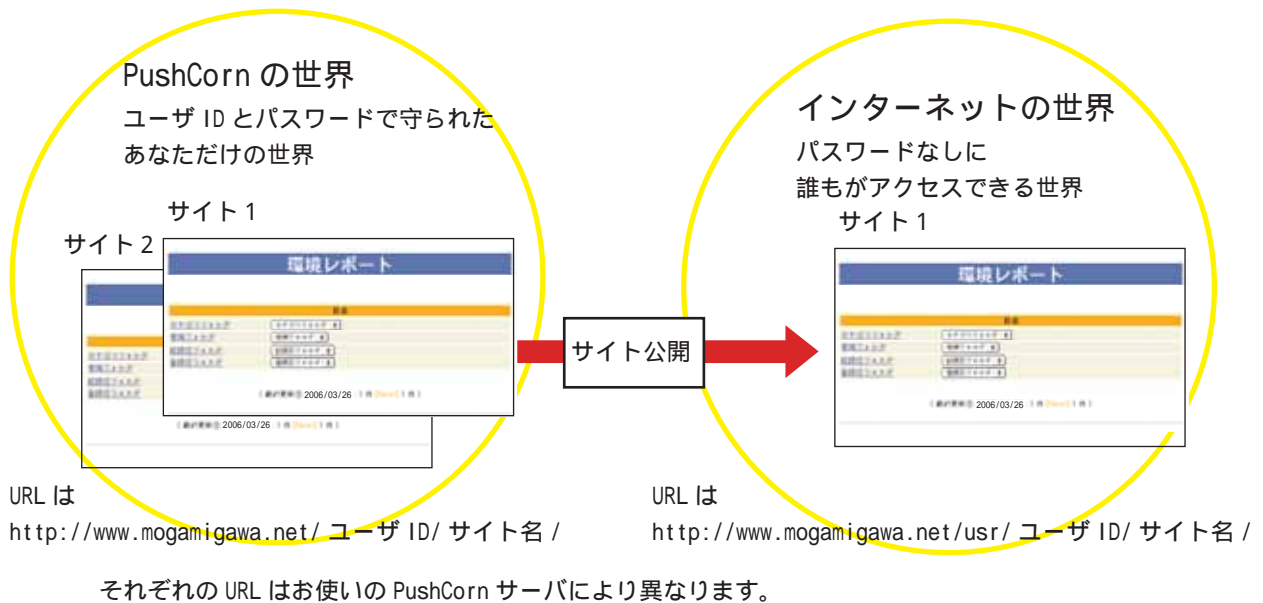
# インターネットに公開しよう！

「ポップコーン」を実行すると、サイト（ホームページ）ができます。

ただし、このサイトはこのままでは他の人は見ることはできません。どうしてでしょうか。

「PushCorn」を使うときにユーザ ID とパスワードを入力しなければなりません。誰かが不用意にあなたの Push-Corn を使うことがないようにアクセスを制限しているのです。

作ったサイトを公開する時には、「インターネットに公開する」という処理をして、本当にインターネットに公開するようにします。



## インターネットにサイトを公開する

サイト編集メニューから「基本設定」を選びます。

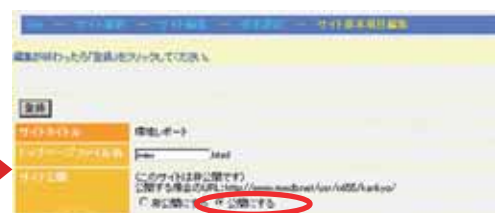


「サイト基本項目」を選びます。



「サイト公開」の項目の「公開にする」にチェックを入れます。

公開される URL はここに示されています。  
よく確認してください。



「登録」ボタンをクリックすると「サイト公開」されます。



## 第2部「ずーっと学習」編

学習は一生の楽しみ。ずーっと末長く続けましょう。PushCornで自分の体験をMyポートフォリオにプッシュしましょう。5年でも10年でも、さらにはもっと長く、1つのサイトをどこまでも途方もなく成長させ続けることができます！



「PushCorn ワークショップ 最上川丸ごと体験ミュージアム」の一場面

# 「eポートフォリオ」に育てましょう！

## 「ポートフォリオ」って何？

もともとは、「紙ばさみ」を意味するイタリアの言葉です。

自分で調べたことを書き込んだカード、デジカメで撮った画像、また集めた資料などをたばねて、フォルダに入れて分類します。このフォルダをさらにまとめたもの。これを「ポートフォリオ」と呼ぶことにしましょう。

## それでは「eポートフォリオ」は？

「ポートフォリオ」の前にゴミみたいなものが…。いいえ、「e」(イー)これはれっきとした一文字です。「イーポートフォリオ」と読みましょう。

昔々、そして今も、カードは紙、フォルダは紙を束ねるものでした。ですので、「ポートフォリオ」は「紙ばさみ」という言葉でもよかったわけですが、PushCornで作るカードもフォルダも紙ではありません。

「郵便物」(メール)は、便箋(びんせん)に手紙を書き、封筒に入れて郵送するものでした。インターネットの世界では、メールのソフトを使って、メールをやりとりします。これは「電子メール」です。ふつう、「eメール(イーメール)」と呼びます。これと同じように、PushCornを使って作る「ポートフォリオ」は、「電子ポートフォリオ」です。「デジタルポートフォリオ」とも言います。この言葉はむずかしいので、もっと簡単に「eポートフォリオ」と呼ぶことにしましょう。

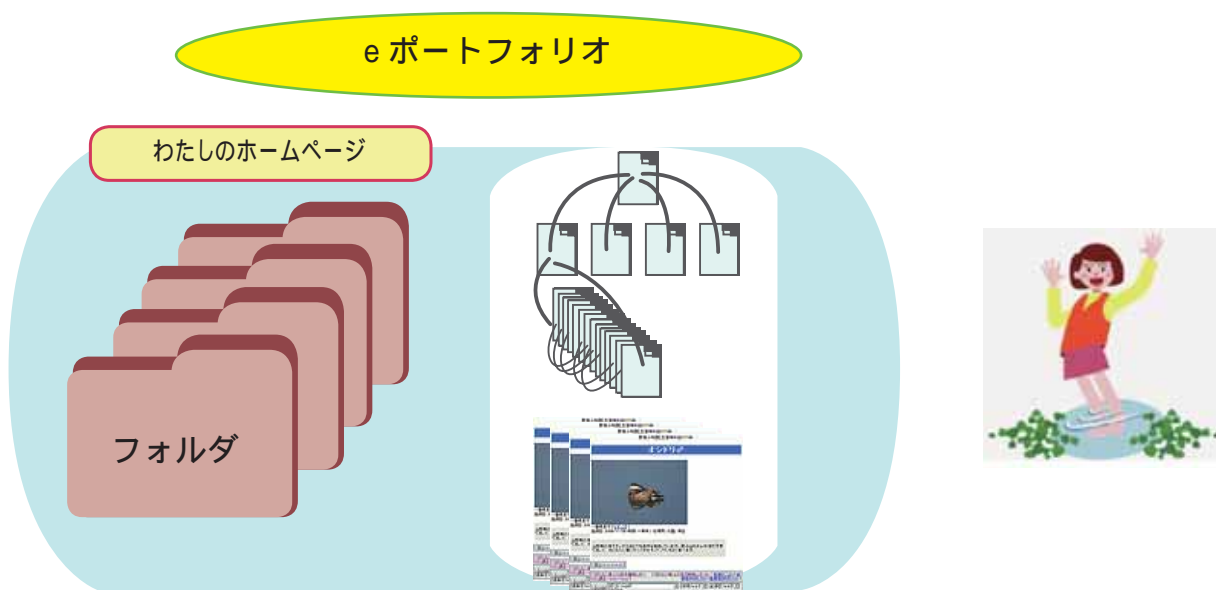
## 小さなスタート、大きな成長

最初に作るサイトはとても小さなものです。しかし、ここにはたくさんのカードやクリップを入れることができます。フォルダを増やすこともできます。サイトをいくつも作ることもできます。

PushCornの使い方や調べたことのまとめ方がわかったら、次はいろいろな学習をしながら、ここに自分の記録を作っていきます。半年後、1年後、さらには5年後、10年後にはとても大きな、そして自分の学習記録、活動記録ができていきます。

自分の記録が増えていくと、自分自身との対話ができます。自分が何をしたいのか、何に興味があるのか、自分の知識の何が足りないのか、など、いろいろわかってくるのが不思議です。長い間には、考え方も変わり、知識も増え、理解できる世界も広がり、理解そのものも深くなっていきます。こういう成長記録を自分でたしかめることができます。「eポートフォリオ」ではこういう自分との対話がとても大切です。

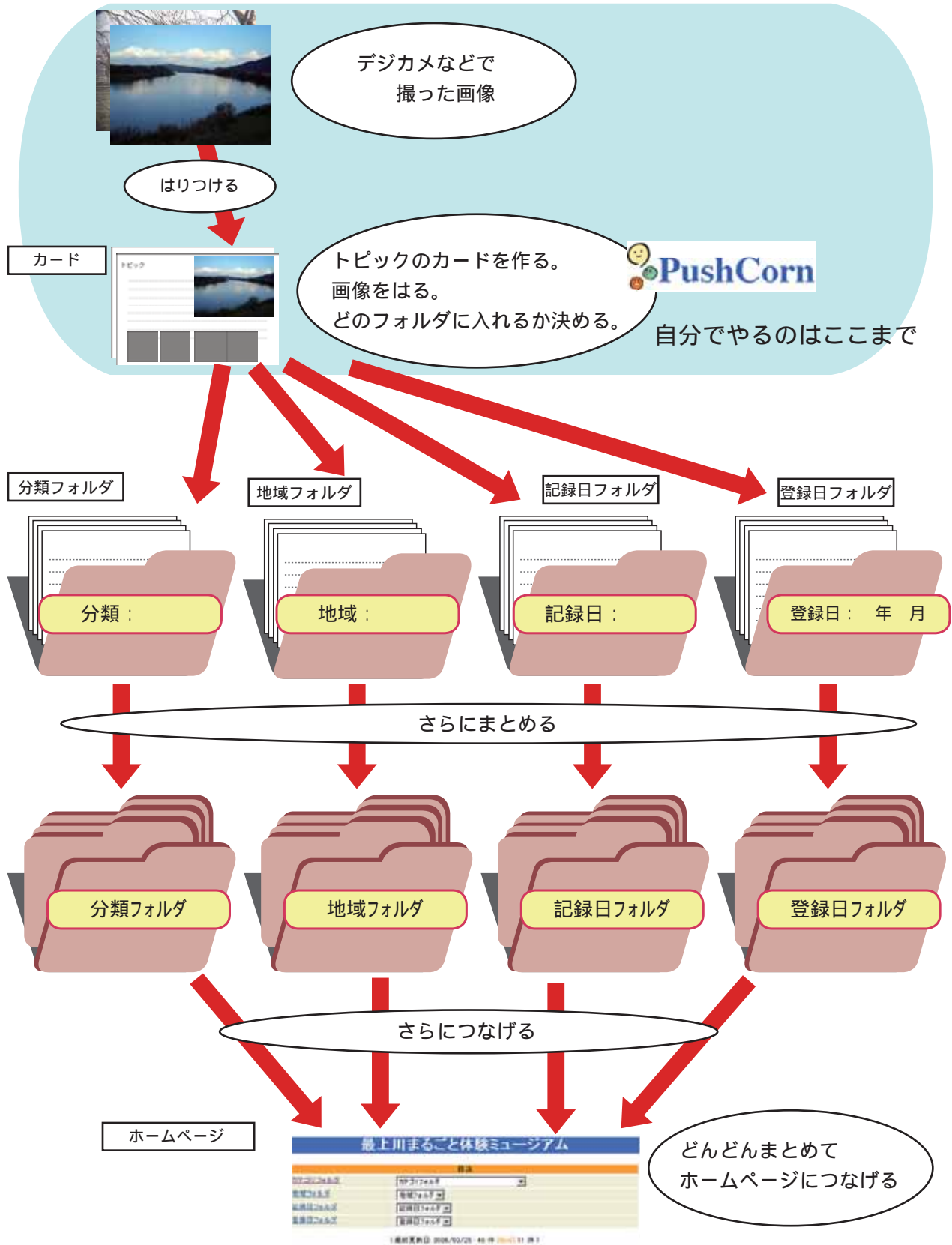
学習は一度フィールドワークしてそれでお終いではありません。繰り返し繰り返しフィールドワークに出かけた、調べたり、まとめたりして、学習したことを形にしていきます。自分で自分の「eポートフォリオ」を作って、毎日の生活をさらに豊かにしてみましょ！



単なる「ホームページ」にあらず。自分の歴史がすべてつまった「eポートフォリオ」！

# PushCorn で小さく作って、大きくまとめる

PushCornのお仕事は、いつもあなたの学習のお手伝いをすることです。小さく作って大きくまとめるお手伝いをします。大きくまとめたものが「eポートフォリオ」です。



まとめるのはPopCornの仕事



# サイト：作るときと見るときは順番が逆

作ったウェブサイトは、作ったときとは見るときでは順番が逆になります。PushCornではカードを先に作りましたが、見るときにはホームページからフォルダを選んで、カード、そしてクリップを選びます。

ホームページ



登録日フォルダ



記録日フォルダ



カテゴリフォルダ



地域フォルダ



カテゴリフォルダ



カード



クリップ



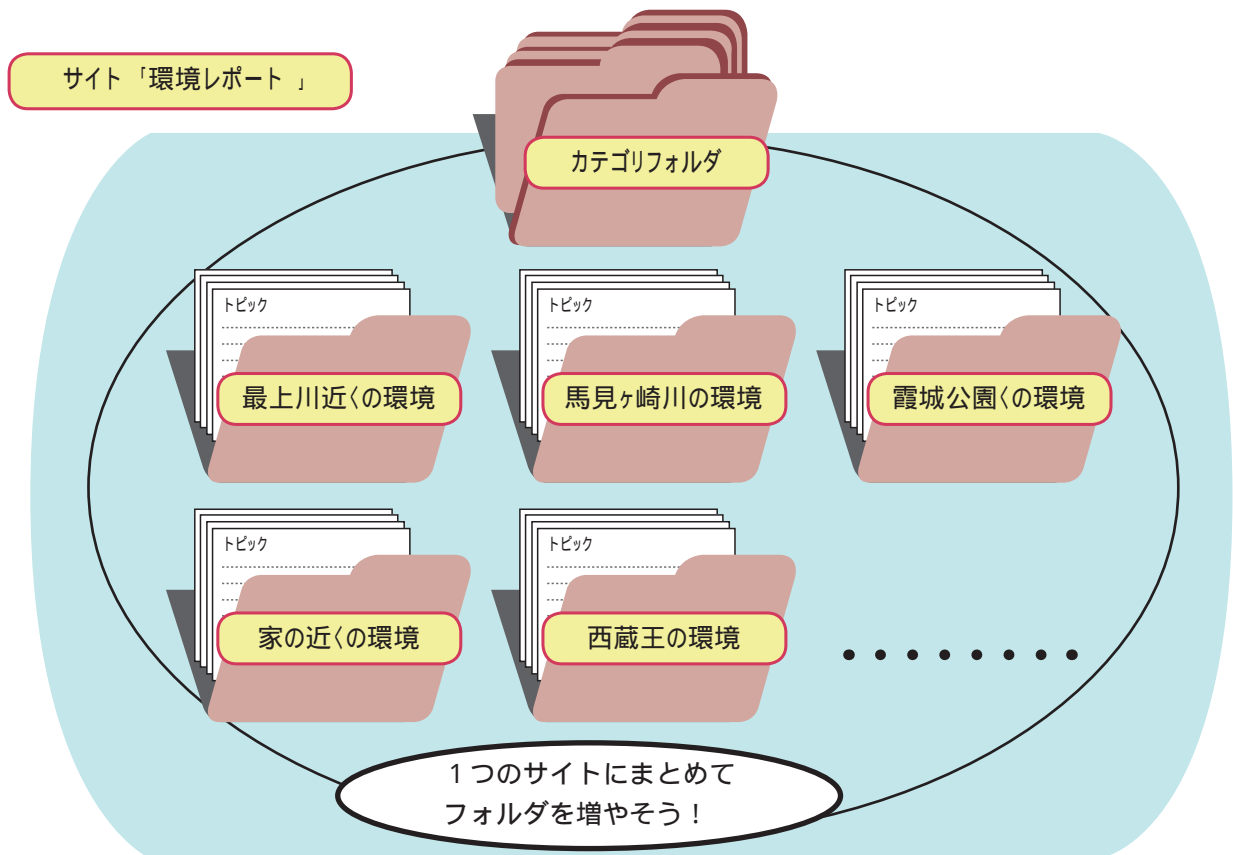
# サイトの作り方：ここがポイント！

PushCornを使うと、割と手軽にいくつでもサイトを作ることができます。でもちょっと待ってください。なるべく一つのサイトにいろいろな記録が収まるようなまとめ方をしてみましょう。

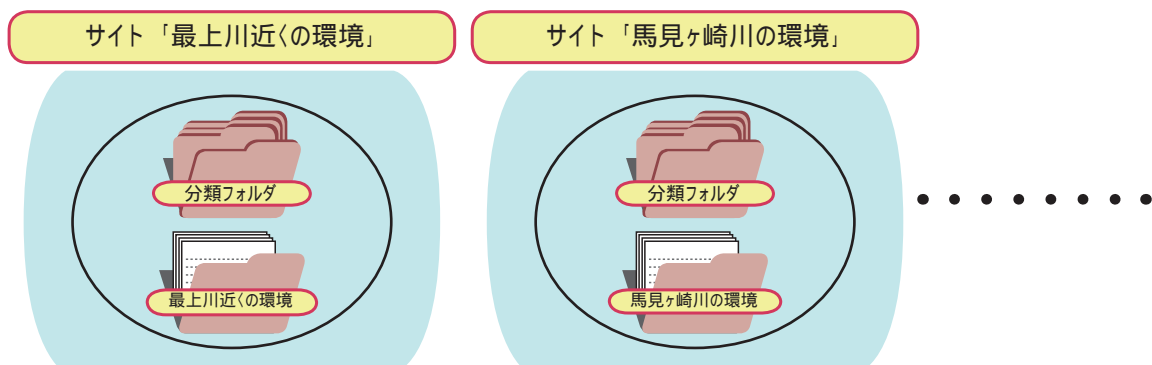
例えば、いろいろな場所に行って「環境レポート」を育てていくことを考えてみましょう。「最上川近くの環境」、「馬見ヶ崎川の環境」、...、これを別々のサイトに入れていくと、サイトばかり増えてしまいます。このような場合は、「環境レポート」というサイトに、それぞれのフォルダを作って入れるようにします。サイトは一つですみます。1年、2年と経つにつれて、フォルダが増えていきます。これでよいのです。

フォルダのまとめ方もいろいろあります。同じ場所を2回、3回と訪れることもあります。このようなときは、フォルダの名前に年月を入れて区別するといいいでしょう。

## こう作ろう！



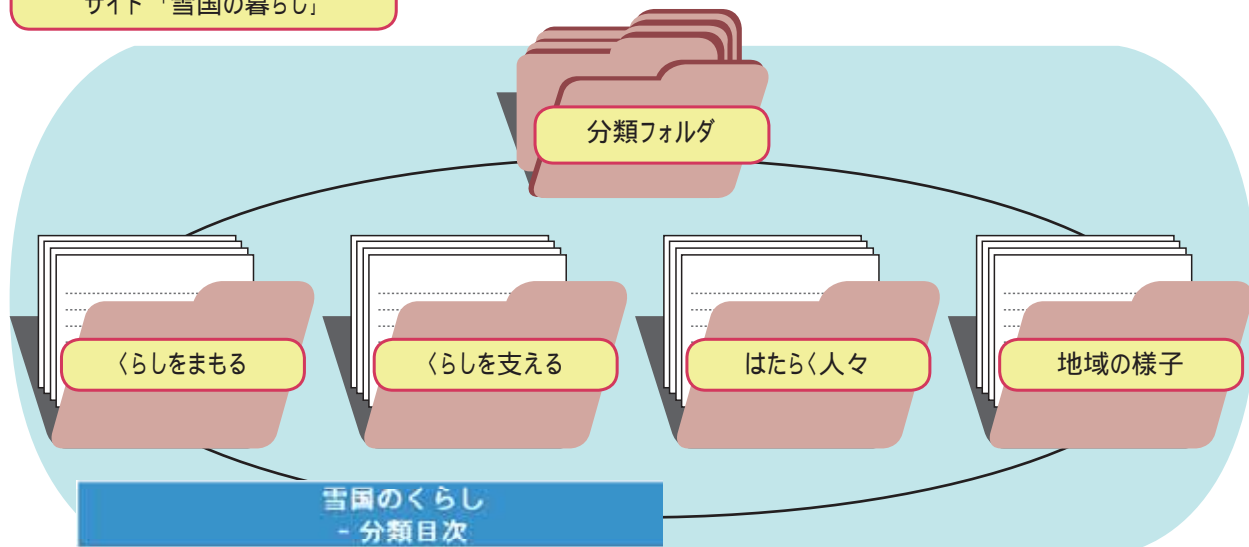
## ✕ こう作ると何がちがうんだろう？



# フォルダの分け方はいろいろ

フォルダをどう分けるかは、あなたが何を調べたいか、調べているかによってさまざまです。わかりやすいまとめ方、フォルダが一つまた一つと増えていくようなまとめ方を工夫してみましょう。

サイト「雪国の暮らし」



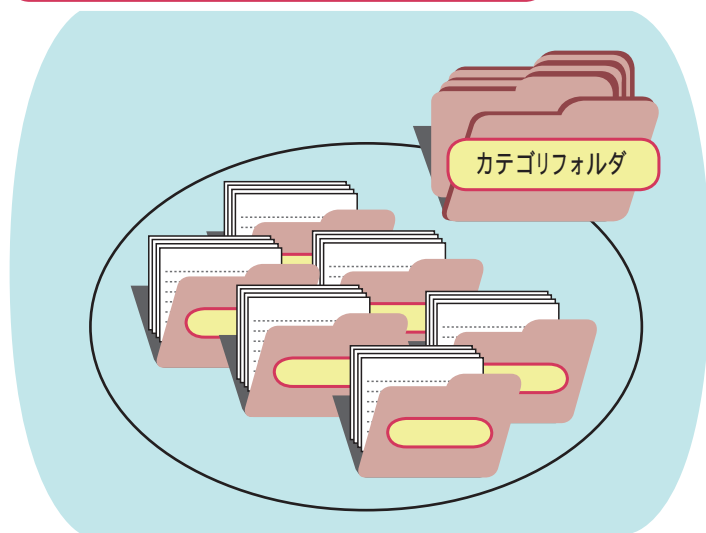
目次

(合計 376件)

No.	項目	件数
▼01	くらしをまもる	51件
▼02	くらしを支える	24件
▼03	はたらく人々	71件
▼04	地域の様子	230件

「雪国の暮らし」ってどんな分け方をするといいんだろう。いろいろな分け方がありますよ。

サイト「最上川丸ごと体験ミュージアム」



最上川まるごと体験ミュージアム - カテゴリフォルダ

## 最上川自然観察レポート

(更新日: 2006/03/25)

90件 / クリップ: 576件)

No.	項目	クリップ数
▼01	野鳥分布図と生態等の紹介	22件
▼02	野鳥を観察してみよう!	9件
▼03	植物分布図と生態等の紹介	6件
▼04	植物を観察してみよう!	34件
▼05	魚類分布図と生態等の紹介	24件
▼06	魚の捕獲と楽しみ方の紹介	9件
▼07	金山町家の花まつり	6件
▼08	網を持って川に入ってみよう	7件
▼09	藻場(やなば)情報と島の生態について	-
▼10	藻場情報と島の生態について	-
▼11	藻に関するイベント情報	16件
▼12	昆虫分布図と生態等の紹介	70件
▼13	藻に関する観光情報と生態等	-
▼14	藻はどんな虫?	-
▼15	藻を見に行こう!	5件
▼16	北石住家	9件
▼17	北石の調べ方	24件
▼18	山形大瀬牛と地層について	6件
▼19	いろんな所に調査に行こう!	11件
▼20	「紅花資料館」へ調査に行こう!	68件
▼21	人と川との関わりかわり	22件
▼22	「泰山泊まり小屋」について	6件
▼23	おさねとは...	3件
▼24	水の旅	98件
▼25	石の変化と楽しみ方	28件
▼26	石で遊ぼう!	15件

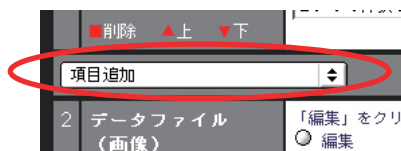
5年以上経っても、フォルダがたくさん増えてもだいじょうぶ。テーマ+年月で分けると、うまくまとまります。

# メディアファイルはどう扱うのか

PushCornではいろいろなメディアファイルを扱うことができます。ここでは、それぞれがどう扱うのか、扱われるのかを見てみましょう。

「カード編集」で「項目追加」メニューから追加したい「データファイル」の種類を選びます。

画像ファイルの場合は画像を表示します。画像の場合は表示サイズを指定できます。SはSサイズ(長辺160ピクセル)、MはMサイズ(長辺320ピクセル)、LはLサイズ(長辺640ピクセル)、オリジナルはオリジナルのサイズです。テキストファイル(拡張子がtxt)の場合は、テキストの中身を表示します。



## 植物を観察してみよう!

この周辺じゅうへんで植物むいオッチングしてみました。みなさんも近くの川原で観察ゆんか?

カブロードバンド化、常時接続が速み、ネットにビデオを公開して学習体験の様子を伝えることのできる環境が、遠隔地が市民参加型ネットにさらに大きな可能性を広げてくれます。

この部長さんが、新緑の懐かしさ運行のため、かすみがるネットのメンバー数人が2回に渡り、奥録させてい

いても、森林体験のある人は減少くなりました。緑で霞ヶ瀨の自然を体験できることは大きな感動体験とな

る経験に役立ちます。見て・触れて・体験して感動する。こういう感動体験が学習の動機づけに役立つことは言

の感想を引用してみよう。

ましても、完璧な形の整備、準備の段階で、次々乗り心地の良い、車まれた天候で気持ちのよい準備らし

行くのは全く違った霞ヶ瀨のよさを味わう事ができました。

ももたらしてくれませんが、霞ヶ瀨周辺に、霞ヶ瀨にかかりを持って暮らす人たちが、今日のような体験をした

が、もっと自分達の地帯を大切に感じてくれるだろうと思わずにいられませんでした。]

2回目の森林体験では、Dリカメラで撮影したビデオからネット配信用のビデオクリップを作り、試みに私のホームページでマッピング

霞ヶ瀨\*に感動してみたところ、多くの方が自宅からビデオクリップを見て、その感動体験から面白さや興味を誘われたようです。予

想以上の成果の大きさに驚きました。

ムービー、音声、音楽、文書ファイル(テキストを除く)の場合は、次のようにアイコンを付けてファイル本体にリンクします。

以上のようにメディアごとにそのメディアにふさわしい形で表示します。

「メディアクリップ」でも基本的な扱い方は同じです。

# ムービーのサムネールを表示する方法

ムービー（動画）ファイルは、右のようにメディアタイプのアイコンで通常は表示します。

ただし、ムービーは画像と同様、リアルな映像を扱うことが多く、サムネール（小さな画像）にして表示の方がその内容をもっと直接的に伝えることができるようになります。

ここではそのサムネールの扱い方について解説をします。

例えば、ムービーファイル名が

2005/0720/001.wmv

だとすると、これに対応する jpg 画像ファイル

2005/0720/001.jpg

を用意してください。

その両方をアップロードします。

このようにすることで、ムービーファイルのサムネールを表示できるようになります。

通常はメディアタイプのアイコン表示



サムネールでの表示例





# 皆とネットでいつもいっしょに！

## 他の人に学ぼう、他の人に伝えよう！

作ったサイトは皆にも見てもらいましょう。また他の人たちのサイトも見てみましょう。

まずはお友だちや同じ学校の人たち、同じグループの仲間で見せ合しましょう。

他の人からいろいろなアドバイスをもらえるかもしれません。たとえば環境学習がテーマなら、その専門のアドバイザーの方から、アドバイスをもらったりすることもできるかもしれません。

また他の人が作ったサイトを見ることは、自分とは違う視点、自分とは違う考え方などを知ることができて、自分の学習を進めていく上でとても参考になることが多いものです。自分が作ったサイトが、他の人にはとても参考になったりします。こういうことは一人でやっていると気づかないことですし、できることではありません。いっしょにやってみて、そういう違いや面白さがわかってきます。

## 興味をどんどん広げよう

いろいろなことに興味を持つと、それを調べることが楽しくなります。次から次へといろいろなことを知りたくなります。

たとえば環境学習で芸工大の近くを調べてみて、いろいろなことがわかってきたとしたら、次は何をしますか。

家の近くはどうなっているのだろう？ とか、学校の近くはどうなっているのだろう？ とか、新しい場所に行つて調べてみると、さらにいろいろなことがわかってきます。

学習の興味を広げていくと、これまでにはなかった物の見方や考え方も生まれてきます。最初、調べに行ったところにもまた新しい発見があるかもしれません。同じところへまた行って、さらに調べてみると、またいろいろなことに気づいていきます。

こうやって調べたことを PushCorn で新しいフォルダを作って、カードを増やしていきましょう。自分が調べたことがどんどん増えていきます。これまでの方法では、自分の情報を増やしながらいつでもそれを見ることができるようにすることはとても大変でした。PushCorn でそれがとても楽に、そして実際にできるようになります。

## 趣味に旅行に、何にでも

興味のあることは人それぞれです。あなたの趣味は何ですか？ それは学習とは違うとは思っていませんか。興味のあること、これが最良の学習です。趣味をテーマにして、PushCorn を使うと、さらに楽しさが増えていきます。

旅行も楽しさを広げるチャンスです。デジカメやビデオで撮ってくれば「旅の思い出アルバム」を作ることができます。「学習」と思わないで楽しむことが、実はとても楽しい「学習」になります。



これは何だろう？



いろいろなところに発見のヒントが？



# 自由に発想することが楽しさの源！

## パパとママのための「学びの楽しさ」レッスン

お子さんが自然観察などの学習活動を思い切り楽しみ有意義なものにするには、一緒にお父さんお母さんが楽しむ心がけが何よりも大切です。そのときに「大人として培われた常識」にとらわれず、むしろ「発想の転換」をして、一緒に遊ぶ、一緒にわくわくする、という気持ちでやさしく助言していただくと、お子さんの「知的好奇心」、「研究する面白さ」が育まれます。

大人でもある皆さんは、これまでの社会生活の中で発想がとても硬くなっていることがあります。柔軟に発想、楽しく行動、こういうことを心がけてみてはいかがでしょうか。お子さんからいろいろ教えてもらうのも楽しさを広げるチャンスです。お子さんも「自ら発見する面白さ」「自ら考える面白さ」を知らず知らず習得して、自分の能力を自分で伸ばしていくことができるようになります。

これまでとかく構えがちであった「ホームページ作り」をもっと気楽に考えてみましょう。ここではそのいくつか「発想の転換」となるヒントを挙げてみます。ここで気づいていただけたことは、そのままお子さんに「学びのヒント」となって伝播します。

## Web はまとめた結果を載せるのではありません

まとめたものをページにする。これをやるから出るものが出なくなってしまうのです。画像などがあれば整理する前に PopCorn にかけてページを生成してしまいます。その後で調べたことを整理したりしながら、1次情報（素材）を知識に変えていけばいいのです。調べたり考える前に PushCorn でいろいろ試してみましょう。

## 人に見せる前に自分のためにやるのです

自分が学ぶためにページを作るのです。自分のためにやるのが、結果として人にも役立つ資料となればいと割り切りましょう。人に見せようとするつもりで内容をまとめていくと、知らず知らず自分が本来したかったことと違う方向に向かっていってしまうことがあります。自分は何をしたいのかを第一に考えましょう。形にした後で、この表現だと人にはわからないのでは？と気づいたら、それはわかるように直していけばよいのです。

## 量は多くてよいのです

学ぶためにたくさんの画像がいるのです。観察したりした時には気づかなかったことなどを後から気づくこともあります。そのためにはたくさんの画像がいります。たくさん撮り溜めできるビデオを使うのも一つの有効な方法です。

## 見る価値がないと思わなくていいのです

素材を価値づけて選別を始めたら、全ては疑心暗鬼に陥って見せるべきものがなくなってしまう。いろいろな発見・理解のチャンスも失われていきます。＜情報＝価値あるもの＞ですが、そこにどのような価値があるかは誰もわかりません。後になって発見される価値もあります。こういうものは残しておく、後からの発見・理解に役立ちます。

## 画像の質は問題ではありません

きれいな画像を見せるのが目的ではありません。プロではないわけですから綺麗な映像など撮れないと割り切りましょう。調べたいものが写っていることが大切です。

### わからなければ教えてもらえばいいのです

画像などを整理していると、「これ何だろう」というものが必ず出てきます。本で調べたり、インターネットで検索して調べたりしてもどうしてもわからないことがあったらどうしたらいいのでしょうか。その時は、「これは何ですか。教えて下さい」とネットに公開して聞いてしまいましょう。

### こんなことをしたらどうなるだろうか、と考えてみよう

アイデアしだいでいろいろなことができます。具体的に何か始めると、次はこうしてみようとか、こういうことしたらどうだろうとかいったアイデアが出てきます。こういうことを考えてみることで、今していることの楽しみをさらに広げていくことができます。

### 自分のポートフォリオができます

自分が体験し、見聞したもの、考えたことを蓄積していくと、自分のポートフォリオができます。日記のようなものとも考えられますが、体験の記録、興味の足跡、知識形成の足跡のようなものになっていきます。ひいては、自分の目を通して捉えた社会の歴史的記録集になっていきます。古くなったものは、歴史としての価値に変わっていきます。こういう目的で発想してみるのもよいのではないのでしょうか。

こういういろいろなものを一つに束ねたものが「ポートフォリオ」です。

### 平凡なものほど記録に残らないのです

社会の様相は絶えず変わっていきます。自然の姿も変わっていきます。そして平凡なものほど記録が残されない、という現象も繰り返されています。日常の見慣れた風景も10年、20年と経つと徐々に変わってしまい、昔どうだったかといったことを確認することができなくなってしまいます。平凡なものほど記録に残そう！ こういう視点もあるとよいと思います。

自分たちが暮らす地域をWeb空間にマッピングさせたものができると、Web上で追体験できて面白いかな？と思ったりします。2050年頃に再び見たら、昔の様子をありありと確認できます。次世代にありありとした姿を伝承することもできます。

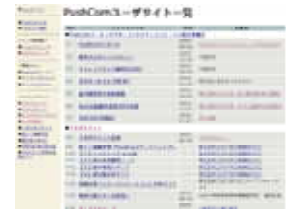
文化的遺伝子「ミーム」の伝承ができるかもしれません。

# 学習を楽しむ最良の方法は？

## いろいろな例を見て学ぼう！

PushCorn や PopCorn で作った数多くのサイトが既にインターネットに公開されています。「PushCorn」ホームページには、全国のサイト一覧ページが掲載されています。

表現だけでなく、テーマの発見、人それぞれの考え方、さまざまな分野への視点など、いろいろなものがあるものから吸収できることでしょう。以下のサイトからもさらに多くのサイトにリンクされています。



PushCorn ホームページ  
<http://www.mmdb.net/pushcorn/>  
「PopCorn ユーザサイト一覧」  
「PushCorn ユーザサイト一覧」



やまがたネット  
(やまがたネット)  
<http://www.yamagata-net.jp/>



PushCorn ワークショップ  
「楽しく協働学習」  
<http://www.yamagata-net.jp/ws/>



山形県地域文化情報館  
(山形県 / 地域文化創造支援グループ)  
<http://www.yamagata-net.jp/bunka/>



やまがた地域観光データベース  
(やまがた地域観光情報研究会)  
<http://www.y-kanko.gr.jp/>



かすみがうら \* ネット  
(かすみがうら \* ネット)  
<http://www.kasumigaura.net/>



マッピング岐阜  
(岐阜県社会教育施設情報化・活性化推進実行委員会)  
<http://cscns.csc.gifu.gifu.jp/push-corn-kit/>



わが町再発見プロジェクト  
(勝田商工会議所まちおこし事業)  
<http://www.mytown-discovery.net/>



誰でも簡単！水質調査！！  
(鈴木健之さん(静岡大学・元学生))  
<http://kiso.sys.eng.shizuoka.ac.jp/waterquality/>

## 自分のサイトを育てる

人のものを見るだけでなく、自分の力で自分のサイトを育てることが「表現をみがく最良の方法」です。いきなりうまくはできなくても、こつこつと作っていくうち、次第に慣れてきて、それと共に表現の幅が広がっていきます。「文は人なり。サイトは人なり。」自分が生き甲斐を持てるようなサイト作りができれば素晴らしいですね。

## 学習ネットの輪を作る

学習を通じて、またさまざまな趣味、社会活動などを通じて仲間ができていくと生き方がさらに面白くなります。人の輪作りが社会づくりにもなっていきます。市民参加型ネット「やまがたネット」はそうした皆さんの人の輪作りを支援しています。